

【11.1】

三角形 ABC の外心 O から直線 BC, CA, AB に下ろした垂線の足をそれぞれ P, Q, R とするとき,

$$\alpha \overrightarrow{OP} + \beta \overrightarrow{OQ} + \gamma \overrightarrow{OR} = \vec{0} \quad (\alpha > 0, \beta > 0, \gamma > 0)$$

が成り立っている. このとき, \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} の関係式を求めよ.

また, $\cos \angle A$, $\cos \angle B$, $\cos \angle C$ をそれぞれ α , β , γ の式で表せ.

【11.2】

点 O を中心とする半径 $r (> 0)$ の円と、この円に内接する鋭角三角形 ABC を考える.

$$\overrightarrow{OH} = \overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB} + \overrightarrow{OC}, \quad \overrightarrow{OK} = \frac{1}{2} \overrightarrow{OH}$$

によって 2 点 H, K を定めるとき、以下の各問いに答えよ.

(1) H は三角形 ABC の垂心であることを示せ.

(2) BC の中点を M_1 , CA の中点を M_2 , AB の中点を M_3 とする.

更に、 AH の中点を N_1 , BH の中点を N_2 , CH の中点を N_3 とする.

このとき、6 点 $M_1, M_2, M_3, N_1, N_2, N_3$ は K を中心とする同一円周上にあることを示せ.

(3) AH と BC の交点を L_1 , BH と CA の交点を L_2 , CH と AB の交点を L_3 とする.

このとき、3 点 L_1, L_2, L_3 は (2) の円周上にあることを示せ.

【11.3】

座標平面上にベクトル

$$\vec{v}_1 = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix}, \vec{v}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 4 \end{pmatrix}, \vec{v}_3 = \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}, \vec{v}_4 = \begin{pmatrix} 3 \\ 3 \end{pmatrix}$$

が与えられているとき、以下の各領域を図示せよ.

(1) 実数 t_1, t_2 に対して,

$$\begin{cases} \vec{p} = t_1 \vec{v}_1 + t_2 \vec{v}_2 \\ \frac{1}{2} \leq t_1 + t_2 \leq 1, \quad t_k \geq 0 \quad (k = 1, 2) \end{cases}$$

を満たす \vec{p} を位置ベクトルとする点 P の動く領域.(2) 実数 t_1, t_2, t_3 に対して,

$$\begin{cases} \vec{p} = t_1 \vec{v}_1 + t_2 \vec{v}_2 - t_3 \vec{v}_3 \\ t_1 + t_2 + t_3 = 1, \quad t_k \geq 0 \quad (k = 1, 2, 3) \end{cases}$$

を満たす \vec{p} を位置ベクトルとする点 P の動く領域.(3) 実数 t_1, t_2, t_3, t_4 に対して,

$$\begin{cases} \vec{p} = t_1 \vec{v}_1 + t_2 \vec{v}_2 + t_3 \vec{v}_3 + t_4 \vec{v}_4 \\ 1 \leq t_1 + t_2 + t_3 + t_4 \leq 2, \quad t_k \geq 0 \quad (k = 1, 2, 3, 4) \end{cases}$$

を満たす \vec{p} を位置ベクトルとする点 P の動く領域.

【11.4】

平面上に三角形 ABC と点 P があり,

$$\begin{cases} \alpha \overrightarrow{PA} + \beta \overrightarrow{PB} + \gamma \overrightarrow{PC} = \vec{0} & \dots\dots(4.1) \\ \alpha \geq 0, \beta \geq 0, \gamma \geq 0, \alpha + \beta + \gamma = 1 & \dots\dots(4.2) \end{cases}$$

が成り立っているとき, 次の各問いに答えよ.

- (1) P は三角形 ABC の周または内部にあることを示せ.
- (2) 三角形 ABC が 1 辺の長さ $l (> 0)$ の正三角形のとき, その内心を I として, $|\overrightarrow{IP}|^2$ を α, β, γ, l で表せ.
- (3) (2) において, P が I を中心とする正三角形 ABC の内接円上にあるための必要十分条件は,

$$\alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha = \frac{1}{4} \quad \dots\dots(4.3)$$

であることを示せ.